

ベトナム・ビナコミンパワーホールディングスとバイオマス混焼の商用化検討に向けたMOU締結 －脱炭素社会の実現に向けた2発電所での混焼試験成果を踏まえ、事業化段階へ－

イーレックス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：本名 均、以下「当社」）は、ビナコミンパワーホールディングス（本社：ベトナム・ハノイ、General Director & CEO：Bùi Minh Tân、以下「ビナコミンパワー」）との間で、ビナコミンパワーの所有する既存石炭火力発電所におけるバイオマス混焼事業の商用化に向けた共同検討を行う覚書（以下「本MOU」）を2026年4月16日に締結いたしましたのでお知らせいたします。

本MOUは、当社とビナコミンパワーがこれまで共同で実施してきたナズオン発電所およびカオガン発電所での混焼試験の成果を踏まえ、商用化検討フェーズへ進むものです。

1. これまでの取り組みと背景

ベトナムでは、電力需要が年率10%程度増加する中、電源の約半分を石炭火力に依存しております。また、ベトナムは2050年カーボンニュートラルを宣言しており、第8次国家電力基本計画では、稼働から20年以上の石炭火力においてバイオマス・アンモニア等の混焼を開始する方針です。これらの燃料による混焼は、二酸化炭素排出量の削減およびエネルギー自給率の向上に資するものであり、特にバイオマス燃料は自国で調達可能です。

当社とビナコミンパワーは2025～2026年にかけて、ビナコミンパワーが所有する2つの既存石炭火力発電所においてバイオマス混焼試験（以下「本混焼試験」）を実施し、いずれも良好な成果を収めました。本混焼試験は、2022年9月にベトナムの国営ベトナム石炭炭鉱グループ（ビナコミン）の子会社であるビナコミンパワーとの間で調印した石炭火力へのバイオマス混焼等に関する覚書およびその覚書の付録書（2025年6月17日締結）に基づき実施したものです。また、2025年3月11日に経済産業省資源エネルギー庁による令和7年度「資源国脱炭素化・エネルギー転換技術等支援事業費補助金」に採択され、2025年4月15日に交付決定を受けており、本混焼試験において本補助金を活用いたしました。

■実施済の混焼試験

ナズオン発電所 Na Duong	2025年9～11月に実施、55MW×2のうち1基 木質チップによる混焼率20%を達成 ベトナム初の石炭火力での混焼試験として、燃料搬送や混焼運転の知見を獲得
カオガン発電所 Cao Ngan	2025年12月～2026年1月に実施、57.5MW×2のうち1基 木質ペレットによる混焼率30%を達成 CO ₂ 排出量を最大30%削減可能

これらの結果は、ベトナム国内に豊富なバイオマス資源を活用した混焼の商用化可能性が十分にあることを示すものと考えております。

2. 本MOUの目的と概要

混焼試験の結果を受け、両社は商用化検討フェーズへ進むにあたり、本MOUを締結いたしました。

本MOUの内容は以下の通りです。

目的	ビナコミンパワーが所有または投資する既存石炭火力発電所におけるバイオマス混焼の共同検討についての相互協力
協力内容	<ul style="list-style-type: none"> ① ナズオン発電所やカオガン発電所など混焼試験を実施した既存石炭火力発電所におけるバイオマス混焼の商用化に向けた協議・検討の推進 ② 既存石炭火力発電所への当社による出資参画の協議 ③ 法令・規制・価格メカニズムの確立や許認可取得の整備に向けた両国政府への共同提案 ④ 事業スキーム・ファイナンスに関する検討 ⑤ 経済性評価・技術評価に関する検討

3. 今後の展開

両社は共同ワーキンググループを中心に、技術面・経済面・制度面の調査を進め、商用化を検討してまいります。また、当社は、2026年度よりベトナムでの石炭火力へのバイオマス混焼事業（混焼率20～30%）の開始を目指します。さらに、これらの活動を通し、ベトナムの目指す2050年カーボンニュートラルの実現およびエネルギー自給率の向上に貢献してまいります。

■イーレックスの海外事業について

当社は、ベトナムおよびカンボジアにおいてバイオマス発電所の建設等、脱炭素にむけた事業展開を推進しております。これは両国の脱炭素に貢献するだけでなく、エネルギー自給率の向上や雇用の創出にも資するものと考えております。



